



KIFA  
Plaza

かわら版

発行：鎌ヶ谷市国際交流協会  
〒273-0195 鎌ヶ谷市初富928-744  
TEL 047-445-1141 (内線550)  
FAX 047-441-9400

広報委員会より

従来のKIFA Plazaと、本年度は新たに「KIFA Plaza かわら版」を発行します。発行の目的はKIFA活動の報告や行事予定をお知らせするためと、紙面の関係で掲載できなかったことなどをとりあげます。KIFAホームページとあわせますと詳しい内容をご覧いただけます。KIFAホームページのURLは下記のとおりです。

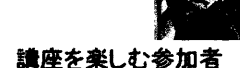
URL <http://www.kifa.gr.jp>

市民夏まつりに参加 ミニ語学講座も開催

民族舞踊・二胡演奏・輪投げやゲームなどで盛り上がり！



独語ミニ講座



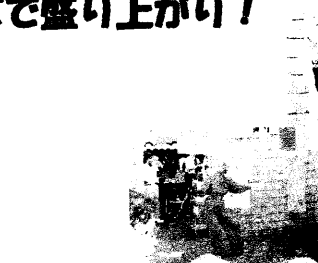
講座を楽しむ参加者



英会話ミニ講座



貝柄山公園の夏まつり会場



インドネシアの踊り



中国の太極拳

KIFAブースの展示パネル

8月23日(土)貝柄山公園にて恒例の市民夏まつりが開催された。当日は快晴で朝から蒸し暑く、後で天気情報を確認すると、今年一番の暑さだった。

KIFAのブースは例年どうり色とりどりの万国旗が飾られ、緑色の幟とともに祭りらしい気分を添えていた。

ソフト面で今年の目玉は外国語のレッスンで、講師はそれを母国語とする外国人に依頼。外国語レッスンの合間にはダンスや楽器演奏、太極拳などのパフォーマンスおよび輪投げやじゃんけん遊びなどのゲームが用意され、祭りとしてのエンターテインメント性も考慮されていた。

英語レッスンの実施時刻5分ぐらい前から呼び込みが始まった。なかなか人が集まらない。それでも熱心な呼びかけに応じ中学生らしい3人連れが椅子に座った。これが呼び水になり次々と席が埋まり10脚ほど用意したいすが満杯になった。講師二人のレッスンの進め方はユーモアいっぱいである。参加者は始終笑い通しであった。

次は、インドネシアの踊りである。民族衣装を身にまとい手指の動かし方が独特でエキゾチックな雰囲気十分であった。

中国語のレッスンに次いで、太極拳の演技に移った。演技者は上下とも鮮やかな赤の衣装を着て登場。太極拳特有のゆったりとした、流れるような動きに加え、白と赤の大型の扇を両手に持った2曲目の演技はまるで舞踊を見ているようであった。

この頃になると気温も本日最高と思われ、参加者、KIFA関係者とも、みな全身汗だく。

夏まつり本部前の舞台も熱気を帯び、にぎやかな音楽が聞こえてきたりしていた。

若い宣教師2人による2回目の英語レッスンも終わり輪投げ遊びに移った。賞品が出ることもあり大勢集まってきた。最高は5つ投げたうち4つも成功させた子がいた。賞品を獲得した人はニコニコ顔で帰っていった。

ドイツ語のレッスンでは大学時代以来30数年振りでドイツ語に触れるという方やイタリア出身の方が椅子に座った。講師は名調子で参加者も楽しそうであった。

次いで二胡の演奏が行われた。日本の歌を演奏しそれにあわせ皆で歌を歌って楽しんでいた。

夕刻も近づき最後のスペイン語レッスンとなった。講師はお子さん連れで、子供さんがお母さんから離れるのを嫌がり、抱っこしたままでのレッスンとなった。大変なのはお母さん。抱っこした手にテキストを握り、もう片一方の手でマイクを握るといふ重労働であった。本当にお疲れ様でした。

KIFAの最終イベントはじゃんけんゲームである。シールを3色集めれば賞品がもらえるというもの。なかなか勝てない子は何回も並びなおして三色揃うまで勝負。みんな汗をかきかきの大奮闘。じゃんけんぽんの掛け声でにぎやかな幕閉めとなった。暑い楽しい1日であった。

# 宋家の三姉妹

## 映画鑑賞会のおしらせ

来る12月7日(日)に今年度の大きなイベントとして「宋家の三姉妹」の上映会が三橋記念館地下視聴覚ホールにて午後1時30分よりおこなわれます。

20世紀の中国が歴史的な変動をとげる中、人々が時代とともに変わっていかざるを得ない状況を三人の姉妹をとおして描いた壮大なドラマです。映画鑑賞の前に、映画のつくられた事情や背景、歴史など少し知っておくとよりわかりやすく、楽しめるのでご紹介しましょう。

**1997年香港・日本合作映画、中国語版、2時間25分**  
**監督は香港の女性監督、メイベル・チャン氏**  
**この作品で香港、中国、台湾の多くの映画賞を受賞。**

**解説：**20世紀初頭の中国に新しい時代の息吹を感じとり、自分を信じ、家族のため、祖国のために生き抜いた三姉妹がいた。彼女たちは「宋王朝」と呼ばれるほど、中国の政治と経済に絶大な影響を与えた一族、宋家に生まれた。長女は孔子の末裔である孔祥熙の夫人となり、中国を代表する大財閥を築く。次女は革命家・孫文と結婚し、生涯を革命に捧げて、中華人民共和国の成立とともに、国家副主席となる。そして三女は後に台湾の総統となる蒋介石夫人となり、その名を歴史に残した。

「宋家の三姉妹」は、辛亥革命、西安事件、日中戦争、国共内戦といった激動の中国近代史を駆け抜けた、靄齡(アイレイ)、慶齡(ケイレイ)、美齡(ビレイ)の三姉妹の物語を、壮大なスケールで描き出した歴史大作である。

### 映画評論家 佐藤忠男の作品研究から一部抜粋

メイベル・チャン監督の「宋家の三姉妹」は実在の人物たちを描いた重厚で荘重な近現代史映画であるが、そのストーリーの波乱万丈さと登場人物たちのいづれ劣らぬ個性の強烈さや行動力、そして作品全体の色あいの華麗さ、劇的なシチュエーションの続出とその盛り上がりなど、まるで第一級の良質のメロドラマを見るような面白さをもっている。何組もの美男美女、英雄や佳人の出会いと別れがかたられてゆくが、これがいまや10億とも言う巨大な中国民衆の運命とかかわっている。

多くのすぐれたメロドラマの主人公たちのように、たんに民族の悲劇にかかわって格闘するのではなく、むしろ鮮やかに歴史をつくっている。しかもそれが、決して過去のロマンスではなく、中国と台湾とアメリカという、いまでも深く激しく世界の運命がかかった対決が続いている状況とのつびきならずかかわり合っている。それを、三者の協調を切望する香港の気持ちを中核として、中国の姜文、台湾の趙文瑄、さらに音楽の喜多郎や衣装のワダエミなど日本勢まで巻き込んで、国際的に極力広範囲に理解されるように作っている。これは政治映画であると同時に映画によるきわめて説得的な政治的外交的発言でもある。

### メイベル・チャン監督からのメッセージ

イギリス領香港に生まれ育った私は、一度も中国を訪れたことはありませんでした。

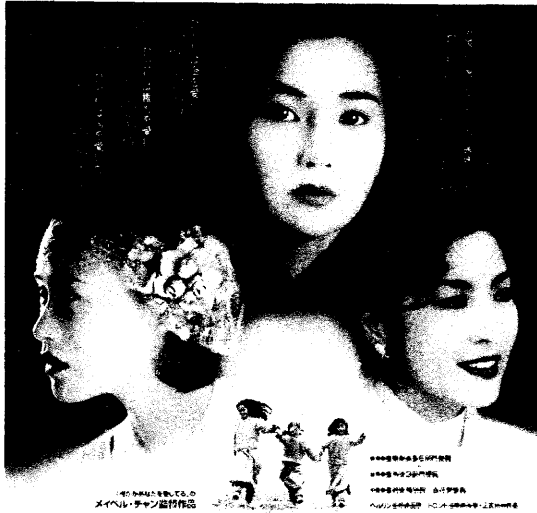
1989年に初めて中国に行き、私が理解できなかった国と人々を発見することになりました。(中略) 中国の歴史を勉強し、自分は本当に誰なのかをみいだそうとした時、世紀の変わり目に生きた3人の女性たち、宋姉妹と出会いました。

先駆的な父親によって子どものころに海外留学に送られ、母国と呼ぶ国に全くの異邦人として西洋からもどってきた宋姉妹は、自分たちは西洋から得た知識と宗家の持つ力で、新しい中国を創造する唯一の立場にあると考えました。彼女たちは母国、国民、そして最終的には自分たちの運命を変えるために闘いましたが、結局は自分たちがおもうよりもはるかに強い力をもっていることに気づいていきます。

わたしは映画監督として、1997年の返還までにもたらされた急速な変化と、将来起こりうるすべての未

知のことがらに直面していますが、一世紀前に生きたこれらの女性たちの気持ちを理解し、分かち合うことができます。

そして、宋姉妹と当時の中国について描くことによって私自身について、今日の中国について、一層よく理解するようになったとおもうのです。



激動の中国近代史とともに  
波瀾の人生を歩んだ  
宋美齡、宋慶齡、宋美齡の姉妹

**物語：** 1981年ニューヨークの宋美齡のもとに、姉の慶齡が死の床についたという知らせが届く。だが、美齡が姉のところへ行くことはできなかった。二人の訣別から既に30年もの月日が経っていた。

20世紀初頭の上海に、聖書の印刷と出版で財を成した、チャーリー宋という男がいた。親友の孫文とともに新しい中国を生み出そうという理想に燃えていたチャーリーは、三人の娘たちを古い因習に囚われずに自由に育て、アメリカ留学に送り出す。

1912年孫文の辛亥革命は3千年以上続いた王朝支配を打ち倒したが、袁世凱に追われ日本へ亡命する。長女の霽齡は孫文の秘書を勤めていたが財閥の孔祥熙と結婚し、さらに慶齡は年の差を越え孫文と結ばれる。袁世凱の死後、中国にもどった孫文は臨時政府を樹立するが政情は不安定でクーデターが勃発する。若き將軍蒋介石に助けられるが「革命未だならず」と言い残し死す。蒋介石は国民党で実権を握り、共産党打倒を主張して国内統一をめざすが、孫文の意志を継ぐ慶齡と対立する。しかし慶齡は蒋介石と結婚した妹美齡に幾度となく助けられる。

そんな時、日本の侵略を無視して共産党との内戦を続ける蒋介石が張学良に捕らえられる。蒋介石を救うため姉妹たちは奔走し、国民党と共産党が一致して抗日戦を戦うことを約束させ彼を奪還する。そして日本との開戦、戦争の報とともに孤児院や軍への慰問で活躍する姉妹たちの姿は統一中国の象徴になっていった。

1945年戦争は終結したが、国内では再度国共内戦が始まり1949年中華人民共和国が成立。蒋介石が率いる国民党は台湾に撤退した。それ以降、三姉妹が再び顔をあわせることはなかった。

## 2003 KIFA PARTYのお知らせ

日時：11月23日（日）午後1時より4時まで（受付開始12時30分より）

場所：市総合福祉保健センター6階大会議室

KIFA PARTYは在住の外国人の方も毎年参加を楽しみにしておられ、例年20ヶ国ほどの外国の方が集います。今年は何人の外国の方々と出会えるでしょうか？ また、新たな試みとして今年はスマイリーキッズ（子ども英会話）に参加した子供達が外国人と出会うスタンプラリーも行われます。

\*舞台では

- ・外国人による民族舞踊や歌、日本の和太鼓演奏（子供達）や日本舞踊
- ・「そねそねくらぶ」曾根さん一家のJazz演奏も行われます。

\*各国ブース

- ・参加7ヶ国を予定しています。
- ・ドイツ、カナダ、スリランカ、ペルー、フィリピン、中国と日本（日本語講座）

\*軽食と飲み物を用意しています。

お知り合いの外国人の方がいらっしゃいましたら是非お誘いあわせのうえご参加下さい。

# ワカタネ青少年派遣の高校生が帰国報告



石丸君



ホームステイ先の友達と



植松さん



ホームステイ先の家族と



中村さん



ホームステイ先の家族と

今年も、鎌ヶ谷市国際交流協会主催、鎌ヶ谷市教育委員会後援による「青少年ワカタネロングステイ派遣」が7月19日～8月14日の27日間、高校生3名参加の派遣で実施された。高校生達は現地のホームステイ先に宿泊してワカタネ高校に通学、現地の人々との楽しいふれあいや高校での授業参加など有意義な体験をして、全員無事に帰国しました。8月21日(木)市役所会議室で父兄同伴のもと報告会が行われました。今回のワカタネ青少年派遣では、現地の新聞に高校生のワカタネ市長訪問の記事が掲載されました。

**石丸君**：派遣はとっても良かった。普段の生活にすぐに溶け込めた。ホストファミリーとの意思疎通にも困難はなかった。学校も良かった、普通に生活できた。こちらで準備していった囲碁は時間が無くて、現地で披露することが出来なかった。

**植松さん**：ホームステイをして本当に良かった。英語も上達したし、話したこと見たことを英語で日記にも書いた。ホームステイ先で英語をチェックしてもらい、すごく勉強になった。スピーチの準備はしていたが、現地の学校でスピーチする機会はなかった。

**中村さん**：現地の高校生にユカタを着せてあげた。パウリアスクール(マオリの生徒が多い学校)で「キラリ鎌ヶ谷」の歌を歌った。7時に起床、8時半ごろ学校に着く。授業はどのクラスにも自由に参加できた。現地の高校生達は学校が終わるとすぐに家に帰ってしまう。日本では授業は同じ建物の中で行われるが、ワカタネでは教室が狭く、授業ごとに教室を生徒が移動するなど興味深く思えた。相手から積極的に話しかけてもらうとうれしかった。

## ワカタネ成人派遣・日本庭園竣工式に出席



New Zealand, Whakatane との姉妹都市提携5周年を記念して日本庭園が建設され、その竣工式が7月4日に行われることになった。KIFAではこれに合わせ、観光も兼ねた代表団を送ることにしたが、募集を始めた5月初旬、SARSがアジアを中心に猛威を奮っており実行も危ぶまれたが、予定通り6月30日成田を出発、7月1日Christchurchに到着、目的地Queenstown行きに乗り換える。



ワカタネ高校日本語教室にて

機上から見える牧場や山々は新雪に覆われている。飛行場でガイド兼運転手のMr. Craigに迎えられる。とても流暢な日本語だ。それもそのはず彼の奥さんは大阪河内出身の由。この日は町の冬祭を見て早めにホテルで夕食。2日目は観光の目玉、Milfordsoundへ、ガイドの案内で片道5時間の道中を経て氷河でえぐられた雄大なフィヨルド内を船中で昼食をしながら1周。3日目はRotorua経由Whakataneに入る。2日遅れで到着したKIFA会長とWhakatane Council Officeで合流し、簡単な歓迎会の後、それぞれのホストファミリー宅に宿泊。



竣工式で行われたマオリの儀式

7月4日は日本庭園の竣工式。マオリのしきたりに従い口上とお祈りが行われ、両市長によるテープカット、KIFAを含めた協力団体の記念プレート除幕に続き、両市長が庭園の石橋の上で握手をして行事は無事完了した。その夜はワカタネ市主催のDinner Partyが行われた。翌5日目は各自ホストファミリーとの交流の時間を持ち、その夜はHammond市長によるGarden Partyに招待された。6日目は現地に別れを告げWaitomo経由Aucklandへ。少人数ではあったがそれだけに和気あいあいでNew Zealandの自然を満喫できた1週間だった。

### ☆ KIFA 子ども英会話 スマイリーキッス!

すぐに使える英会話を歌や体を動かしながら学ぼう!

講師は アネッテ・植松さん 増田千佳さん

・開催期間：2003年10月18日～11月15日 毎週土曜日 全5回

・対象学年：小学校3-4年生、小学校5-6年生

### ☆ 日本語講座

・日本語ボランティア研修会：

開催日：11月8日(土) 時間：14:00～16:00 場所：中央公民館 学習室2

・日本語講座校外学習：

開催日：11月9日(日) 目的地：房総風土記の丘～成田ゆめ牧場～航空博物館

### ☆ 青少年交流ボーリング大会

・開催日：12月14日(日) 時間：14:00～17:00 場所：津田沼ファミリーレーン

対象：高校生～35歳以下の方 参加費有料(別途案内) 定員：25名(先着順)